



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 上場取引所 東  
コード番号 6425 URL <https://www.universal-777.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 徳田 一  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼CFO (氏名) 麻野 憲志 TEL 03-5530-3055  
半期報告書提出予定日 2024年8月8日 配当支払開始予定日 2024年9月30日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	62,907	△20.7	3,264	△69.6	5,567	△80.4	525	△97.5
2023年12月期中間期	79,305	40.8	10,726	—	28,405	111.5	20,952	209.5

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 5,881百万円 (△85.1%) 2023年12月期中間期 39,552百万円 (158.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	6.78	6.78
2023年12月期中間期	270.41	270.37

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期中間期	650,433	394,269	60.6	5,087.29
2023年12月期	628,006	388,388	61.8	5,011.39

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 394,218百万円 2023年12月期 388,336百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	40.00	—	0.00	40.00
2024年12月期	—	30.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	11.7	36,000	18.1	20,000	△47.5	19,600	△31.1	252.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	80,195,000株	2023年12月期	80,195,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	2,704,096株	2023年12月期	2,704,096株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	77,490,904株	2023年12月期中間期	77,483,949株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当中間決算に関する定性的情報(5)連結業績予想について」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(5) 連結業績予想について .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間 .....	7
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間 .....	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(5) 追加情報 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2024年12月期 中間期	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益
個別(百万円)	21,888	295	4,060	75
連結(百万円)	62,907	3,264	5,567	525

遊技機事業においては、当中間連結会計期間における総販売台数は43,044台となりました。統合型リゾート(IR)事業では、フィリピンのカジノマーケット全体がジャンケットビジネスの停滞という状況にありました。

また、円安ドル高の進行による為替差益の計上があった一方、前年同期にありました賃貸借契約解約益、リース解約益といった多額の営業外収益はありませんでした。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は62,907百万円(前年同期比 20.7%減)、営業利益は3,264百万円(前年同期比 69.6%減)、経常利益は5,567百万円(前年同期比 80.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は525百万円(前年同期比 97.5%減)となりました。なお、事業セグメント別の業績は以下のとおりであります。各業績数値はセグメント間売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

## ①遊技機事業

当中間連結会計期間における遊技機事業の売上高は20,759百万円(前年同期比 32.6%減)、営業利益は3,760百万円(前年同期比 51.1%減)となりました。

遊技機業界では、スマートパチスロの稼働がパチンコホールの期待に応える好調な状況を継続しており、パチスロ機の市場環境は良好です。パチンコ機においては、新しい出玉の波を作り出すラッキートリガー搭載機の導入が始まりましたが、好調なパチスロ市場に比べてやや低調に推移しております。

かかる状況下で当社は、主要タイトルである、沖ドキ!シリーズ最新作『沖ドキ!BLACK』、パチンコ機においてはラッキートリガー搭載機『PAハイスクール・フリート オールスター すい〜とでハッピー!2400』、『Pギルティクラウン2 プレミアムライブチケット』の市場投入を行いました。

## ②統合型リゾート(IR)事業

当中間連結会計期間における統合型リゾート(IR)事業の売上高<sup>(1)</sup>は41,678百万円(前年同期比 13.1%減)、営業利益は3,280百万円(前年同期比 55.1%減)となりました。また、調整後EBITDA<sup>(2)</sup>は11,712百万円(前年同期比 22.3%減)となりました。

当社グループが運営する統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」では、第1四半期に続き第2四半期においても前年を下回る実績となりました。ゲーミング事業においては、フィリピンのカジノマーケット全体がジャンケット<sup>(3)</sup>ビジネスの停滞に直面する中で、オカダ・マニラにおいてもVIP客の落ち込みが続きました。なお、マスマーケット、ゲーミングマシンについては、コロナ禍後の反動需要があった前年を下回ったものの、コロナ禍前のピークであった2019年と比べて、売上は着実に伸びております。ホテル・飲食事業における来場者数も堅調に推移しております。

(1) 売上高は、総売上高からゲーミング税及びジャックポット費用を控除したもの

(2) 調整後EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + その他の調整項目

(3) ジャンケットとは、世界各国のVIPをカジノに誘客し、移動や食事等の世話をする仲介業者のこと

## ③その他

当中間連結会計期間におけるその他の売上高は202百万円(前年同期比 53.0%減)、営業利益は169百万円(前年同期比 10.0%減)となりました。

メディアコンテンツ事業においては、App Store・Google Playにて、高品質なパチスロシミュレータアプリや楽曲の配信を行っております。また、月額制サービスの「ユニバ王国」及び基本プレイ無料のソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」においては、機種数を増やすことで新規会員の獲得や既存会員の継続意欲の向上に努めております。

## (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における財政状態については、以下のとおりです。

総資産の額は、円安ペソ高により固定資産が増加、非連結子会社に対する未収入金増加、持分法関連会社に対する長期貸付金増加により、前連結会計年度末に比べて22,426百万円増加し650,433百万円となりました。

総負債の額は、連結子会社における長期借入金の返済による減少、繰延税金負債の増加、円安ペソ高の進行によるリース債務の増加、円安ドル高の進行による社債の増加により、前連結会計年度末に比べて16,545百万円増加し256,163百万円となりました。

純資産の額は、利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純利益の計上により増加、為替換算調整勘定についても円安ペソ高により増加したこともあり、前連結会計年度末に比べて5,881百万円増加し394,269百万円となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、減価償却費、リースや借入金の支払利息・社債利息の計上により増加した一方、円安ドル高の進行による為替差益、社債・リース・借入金の利息支払、工事未払金や工事前渡金に伴う支出等もあり有形・無形固定資産の取得による支出、持分法関連会社に対する貸付による支出、長期借入金の返済の支出により減少したこともあり、前連結会計年度末に比べて9,912百万円減少し、34,278百万円となりました。また、当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は次のとおりであります。

## ＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動によるキャッシュ・フローは、842百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益4,414百万円、減価償却費8,878百万円、支払利息・社債利息9,119百万円、為替差益を10,879百万円計上した一方、利息の支払額6,701百万円によるものです。

## ＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動によるキャッシュ・フローは、7,680百万円の支出となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得による支出4,549百万円、長期貸付による支出2,900百万円によるものです。

## ＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,858百万円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出4,820百万円によるものです。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ①遊技機事業

遊技機業界における市場環境は、パチスロ機においては好調な稼働状況が続くスマートパチスロのシェア拡大、パチンコ機においてはスマートパチンコ及びラッキートリガー搭載機の普及により、今後のさらなる活性化が予測されます。

第3四半期は、出玉の波が自動で切り替わる業界初の出玉率モード変動機能を搭載した『スマスロ トロピカーナ』の市場投入を開始しております。パチンコ機では、ラッキートリガー搭載機『Pドラムだ!金ドン 花火外伝』の市場投入と、人気アニメの世界観を再現した『Pメイドインアビス 虹の黄金域』の販売を開始しております。

当社は引き続き、独自性のある魅力的な遊技機創出に努め、その魅力ある遊技機を通して遊技機業界全体の活性化に貢献するとともに、販売シェアの拡大に努めてまいります。

(ご参考) 2024年12月期 パチスロ・パチンコ販売台数

	第1四半期	第2四半期	第3四半期以降(受注見込)
販売台数(台)	28,014	15,030	21,000

(注) 第2四半期までの実績については、「2024年12月期 第2四半期(中間期)決算補足資料」(<https://www.universal-777.com/corporate/ir/library/result/>)をご参照ください。

②統合型リゾート(IR)事業

フィリピン観光省の発表によると、インバウンド旅行客数は堅調に伸びており、年度を通じて二桁成長が見込まれる状況です。

オカダ・マニラでは、人材採用とトレーニングを通じて、ゲーミング事業におけるマーケティング機能の強化を図っております。フィリピン国内顧客層の拡大を目指し、マニラのあるルソン島以外からの国内需要を取り込むだけでなく、日本・韓国・その他東南アジア各国からの観光客の誘致を目的としたマーケティング活動を強化いたします。非ゲーミング事業においても、定期的なホテル・飲食イベントに加え、館内施設を利用した大型イベントの開催を継続することで、オカダ・マニラへの来場者数の増加を図ってまいります。なお、当社海外私募債の借換えについては、銀行借入れ及び米ドル建て海外私募債の発行によるリファイナンスを実施しております。

③その他

メディアコンテンツ事業においては、App Store・Google Playにて、A PROJECTから『ニューゲッターマウス』のシミュレータアプリを8月に配信する予定です。月額制サービスの「ユニバ王国」及び基本プレイ無料のソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」においても、サービスの改善、ユーザー満足度の向上に努めてまいります。

(5) 連結業績予想について

2024年12月期の通期連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表した内容から変更はありません。なお、今後の為替相場の変動、収益の進捗状況等をふまえて、修正が必要であると判断した場合には速やかに公表いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,300	34,286
受取手形及び売掛金	11,039	4,664
有価証券	2,448	1,494
商品及び製品	3,399	2,490
仕掛品	13,839	16,231
原材料及び貯蔵品	10,988	11,369
その他	18,827	22,487
貸倒引当金	△884	△843
流動資産合計	103,958	92,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	349,706	366,569
建設仮勘定	6,670	6,228
リース資産(純額)	49,784	52,686
その他	36,636	40,726
有形固定資産合計	442,798	466,210
無形固定資産		
その他	1,795	1,972
無形固定資産合計	1,795	1,972
投資その他の資産		
投資有価証券	9,941	9,848
長期預け金	8,743	9,909
関係会社長期預け金	34,402	39,048
関係会社長期未収入金	11,423	11,155
その他	19,634	25,036
貸倒引当金	△4,992	△5,078
投資その他の資産合計	79,152	89,919
固定資産合計	523,745	558,102
繰延資産	301	150
資産合計	628,006	650,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,399	5,372
1年内返済予定の長期借入金	4,467	—
1年内償還予定の社債	113,810	131,220
未払金	6,492	5,191
未払費用	10,169	8,292
未払法人税等	81	45
賞与引当金	87	535
その他	20,230	21,470
流動負債合計	164,739	172,128
固定負債		
退職給付に係る負債	650	829
関係会社長期預り金	7,091	8,051
リース債務	56,650	61,340
その他	10,486	13,813
固定負債合計	74,879	84,034
負債合計	239,618	256,163
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	98	98
資本剰余金	18,828	18,828
利益剰余金	364,273	364,798
自己株式	△7,298	△7,298
株主資本合計	375,900	376,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20	△73
為替換算調整勘定	12,620	18,036
退職給付に係る調整累計額	△163	△169
その他の包括利益累計額合計	12,436	17,792
新株予約権	51	51
純資産合計	388,388	394,269
負債純資産合計	628,006	650,433

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	79,305	62,907
売上原価	35,446	24,065
売上総利益	43,858	38,842
販売費及び一般管理費	33,132	35,577
営業利益	10,726	3,264
営業外収益		
受取利息	138	626
受取配当金	17	15
為替差益	8,620	11,101
賃貸借契約解約益	18,698	—
リース解約益	4,150	—
その他	240	450
営業外収益合計	31,867	12,194
営業外費用		
支払利息	2,469	2,226
社債利息	4,715	6,892
支払手数料	6	4
持分法による投資損失	6,773	504
その他	223	263
営業外費用合計	14,188	9,891
経常利益	28,405	5,567
特別利益		
固定資産売却益	22	99
特別利益合計	22	99
特別損失		
固定資産除売却損	2	4
関係会社株式評価損	—	149
海外投資損失	—	1,099
特別損失合計	2	1,252
税金等調整前中間純利益	28,425	4,414
法人税、住民税及び事業税	187	77
法人税等調整額	7,285	3,812
法人税等合計	7,473	3,889
中間純利益	20,952	525
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	20,952	525

(中間連結包括利益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	20,952	525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74	△53
為替換算調整勘定	18,518	5,416
退職給付に係る調整額	7	△5
その他の包括利益合計	18,599	5,356
中間包括利益	39,552	5,881
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	39,552	5,881
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	28,425	4,414
減価償却費	8,401	8,878
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△20	△95
関係会社株式評価損	—	149
海外投資損失	—	1,099
持分法による投資損益(△は益)	6,773	504
賃貸借契約解約益	△18,698	—
リース解約益	△4,150	—
受取利息及び受取配当金	△156	△642
支払利息	2,469	2,226
社債利息	4,715	6,892
為替差損益(△は益)	△8,722	△10,879
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17	△288
売上債権の増減額(△は増加)	3,515	6,456
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,707	△1,711
仕入債務の増減額(△は減少)	263	△4,070
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,501	△2,321
未収入金の増減額(△は増加)	△783	△1,334
未払金の増減額(△は減少)	△2,269	△1,274
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△448	△793
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,836	16
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△774	△605
その他	585	770
小計	13,097	7,391
利息及び配当金の受取額	156	268
利息の支払額	△6,686	△6,701
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△72	△116
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,494	842
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,592	△4,316
有形固定資産の売却による収入	21	99
無形固定資産の取得による支出	△233	△233
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
短期貸付金の回収による収入	1,500	10
長期貸付けによる支出	—	△2,900
長期貸付金の回収による収入	208	—
その他	296	△336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,803	△7,680
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△3,677	△4,820
セール・アンド・リースバックによる支出	△434	—
その他	△34	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,146	△4,858
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,369	1,683
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	912	△10,013
現金及び現金同等物の期首残高	35,793	44,190
その他の現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	101
現金及び現金同等物の中間期末残高	36,705	34,278

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(5) 追加情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(重要な資金の借入)

連結子会社であるTIGER RESORT LEISURE AND ENTERTAINMENT, INC. は、2024年7月19日付でChina Banking Corporationを借入先とする融資契約を締結しております。

1. 使 途：既存社債の期限前償還のため
2. 借入先の名称：China Banking Corporation
3. 借入金額：400百万米ドル
4. 借入条件：市場金利に連動した変動金利（6.75%、又は基準金利(\*)+1.75%の高い方）
5. 借 入 日：2024年8月2日
6. 返済期日：借入日より7年
7. 担 保：OKADA MANILA 不動産等

(\*)基準金利とは、金利設定日又は改定日（それぞれ同日を含む）に終了する3営業日間の、CME Group Benchmark Administration Limitedが管理及び公表する3カ月物米ドルSecured Overnight Financing Rate（担保付き翌月物調達金利）の単純平均買い利回り。

(社債の発行)

当社は2024年7月23日付の取締役会の決議に基づき、2024年7月26日に社債を以下の条件で発行しております。

1. 発行総額：400 百万米ドル
2. 発行価格：額面価格の99.0%
3. 利 率：年9.875%
4. 償還期限：2029年8月1日
5. 資金使途：既存社債償還及び一般事業資金
6. 償還方法：額面額の106%の金額にて満期一括償還
7. 保 証 人：Tiger Resort Asia Limited（当社連結子会社）

保証及び担保契約（Guarantee and Collateral Agreement）に基づき、当社及び Tiger Resort Asia Limited は保証人の債務について担保提供するほか、一定の要件に該当した当社子会社は追加で保証債務を負担する。

8. 担保資産：保証人が保証及び担保契約に基づき負う保証債務には、同契約に基づく担保が付される。主な担保資産は以下の通り。

- (1) 当社の保有する Tiger Resort Asia Limited の全株式
- (2) Tiger Resort Asia Limited の保有する Brontia Limited の全株式